
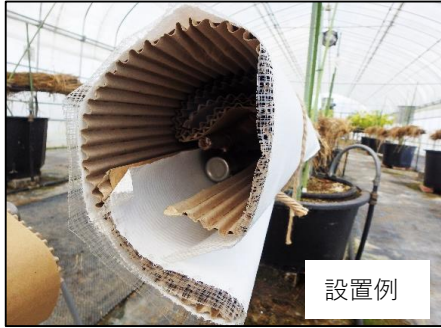


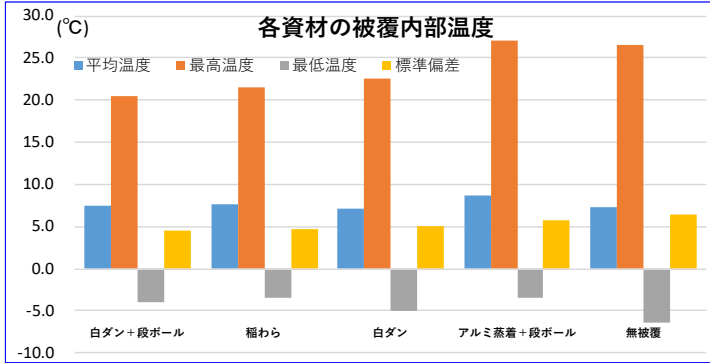
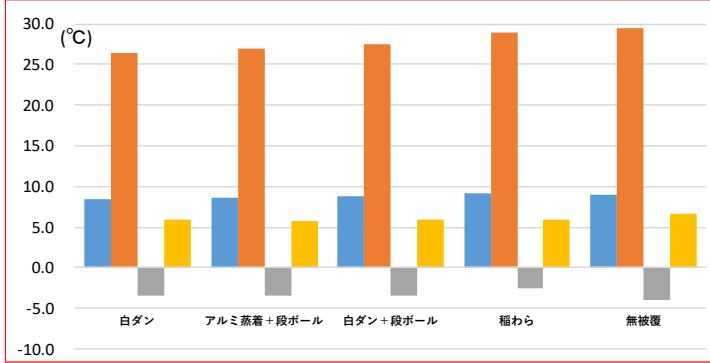


研究 タイトル	令和元～2年度 イチジク防寒被覆試験について【共同研究】		
研究背景	イチジク栽培では凍害防止のため、冬期～春期(12～4月)に稲わらで株を被覆する作業が有効だが、稲わらは被覆に手間がかかる上、近年では徐々に入手し難くなりつつあり、容易に入手できる代替資材の開発・普及が期待される。本試験では、小林製袋産業㈱が開発した段ボールに白色不織布を貼った新資材「白ダン」を用い、ハウス・露地における防寒性能について「稲わら」、「アルミ蒸着シートを加用した稲わら」との比較評価を行った。		
成果要約	ハウス、露地いずれにおいても白ダンが稲わら他と同等以上に被覆内部(樹体周辺)の寒暖差を抑えており、一定の防寒機能があると認められた。		
今後の展望	暖冬で凍害が発生するほどの寒波による気温差はなかったため、次年度も引き続き調査し、新資材の有用性について検証したい。		
概要	<div> <div> <p>【被覆資材、設置状況】</p> <div> <p>白ダン (撥水性、通気性、光反射あり)</p>  <p>稲わら</p> </div> <div>  <p>設置例</p> </div> </div> <div> <p>品種: 梶井ドーフィン 樹形: 一文字整枝</p> <div>  <p>露地栽培</p> </div> <div>  <p>ハウス栽培</p> </div> </div> </div> <div> <p>【試験結果】 白ダンは稲わらと同等以上に寒暖差の抑制できる。</p> <div>   </div> </div>		
事業名	本調査・研究は、令和2年度 農業振興センター 農業振興事業（果樹特産化推進事業）により実施しました。また、新資材の有用性については長野県飯田市の小林製袋産業㈱と共同して検証を行っております。（日本特許庁 実用新案登録番号 第3215772号「樹木の凍害防止及び損傷防止用保護材」）		
問合せ先	<p>☆詳しい情報を知りたい、という方は下記までお気軽にご連絡ください。</p> <p>姫路市役所 産業局 農林水産部 農業振興センター 〒679-2111 兵庫県姫路市山田町多田1174番地47</p> <p>電話番号: 079-263-2220 ファックス: 079-263-2708 E-mail: engei@himeji.city.lg.jp</p>		